



みらい

令和4年度 第1号

令和4年5月発行

五十嵐小学校学校運営協議会



令和4年度(2022年度)に新潟市の学校はすべてコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)を導入します。五十嵐小学校は昨年度より全市の導入に先駆けてモデル校となり、今年度は2年目となりました。学校運営協議会を設置し、地域と学校が支え合い、ともに成長し、活性化していく「地域とともにある学校」づくりを進めていきます。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

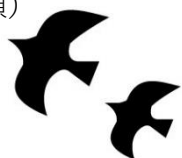
第1回学校運営協議会が開催されました(令和4年5月13日(金)五十嵐小学校にて)

学校運営協議会とは?

学校運営の基本方針、教育目標、教育ビジョンを共有した上で、目標の実現に向けて教育活動を点検・評価したり、活動の充実に向けて意見するなど協議します。年に4回開催します。運営協議会委員の任期は2年間です。

学校運営協議会委員の紹介

会長 日諸 博美(元小学校長)
副会長 大野 正也(五十嵐小学校PTA会長)
室崎 泰之(元五十嵐小学校PTA会長)
岡村 京吉
(五十嵐中学校区青少年育成協議会会長)
岩沢 孝金
(五十嵐小学校区コミュニティ協議会会長)
波多 茂美
(五十嵐地区民生委員・児童委員協議会会長)
和田 あづさ
(五十嵐小学校区スポーツ振興会理事長)
鈴木 孝昌(新潟大学工学部教授)
騰川 登志子
(いからしフレンドスクール運営主任)
眞島 潤子(主任児童委員)
佐藤 志真子(五十嵐ひまわりクラブ第1)
袖山 洋子(五十嵐ひまわりクラブ第2)
三浦 峰子
(五十嵐小学校地域教育コーディネーター)
諸橋 智(五十嵐小学校校長)
渡邊 剛(五十嵐小学校教頭)



日諸会長あいさつ

協議会が2年目になります。この1年間、少しでも学校のお役に立つことができたのだろうかと思問自答しています。2年間の任期ですのでこの1年間はさらにまとめの年として、何かしらやっていかなければいけないと思っています。

去年、この協議会の中で、私はいつでも「この組織は学校の応援団、学校を応援するために作られた組織だと思っている」という言い方をしました。少しでもいいから、皆さんのお役に立ちたいと思っています。よろしくお願いいたします。



諸橋校長より「学校運営方針」について

「温もりあふれる楽しい学校Ⅱ」——昨年に引き続き、温かさと、子どもが楽しいと言える学校、ここが本校の昨年度からの取り組み目標です。今年度は特に50周年を迎える、大事な節目の年になっています。いちばん重要なポイントになる、「五十嵐地区」のキーワードを私たちは、「夕日ライン」「大学」「行政マッチアップ」としました。このことを考えながら、地域と共に学校づくりをしていこうと具体的な取り組みを考えています。全職員で子どもに寄りそい、保護者に寄りそう、支えていく、お互い支え合う、そんな学校運営を進めていこうと考えています。



協議内容はすべて承認されました。詳細については裏面をご覧ください。

(1) 教育ビジョンについて

教育目標 未来を創りだす子ども

目指す子ども像

○自分のよさを伸ばす子ども

○友達のよさを認め、高め合う子ども

育む 資質・能力

「未来を創り出す子ども」の実現に向け、地域の「ひと・もの・こと」とかかわりながら、「しなやかな心」を基盤として、「考える力（学びプロジェクト）」「つながる力（かかわりプロジェクト）」「表す力（学びプロジェクト）」を関連付けて育てます。



3つのプロジェクトについて各主任から説明がありました。

(2) 「五十嵐の教育を語り合う」（職員とCS委員との情報交換）

職員とCS委員が6グループに分かれて、意見交流をしました。各学年主任がテーマに沿って、今現在どのように進めていこうと考えているかを説明し、それについてCS委員から意見を聞きました。30分の話合いの後に、各グループからの発表を行いました。

学年	テーマ
1年	低学年として大切にしたいこと
2年	低学年として大切にしたいこと
3年	五十嵐たんけんたい
4年	ごみを減らしてリサイクル
5年	松林と砂浜
6年	豊かな五十嵐の未来を考えよう



(3) 「地域と学校パートナーシップ事業」について

創立50周年の今年、ボランティアでいらした保護者が実は卒業生だったとお聞きすることが多々あります。地域によって育まれた学校の重みを感じています。ゲストティーチャーやボランティアでいらしていただき、子どもたちとの交流を軸に、地域の方・保護者・家庭と学校が、私たちの事業を通してつながっていけるよう今年度も活動していきます。地域の方のご協力を仰ぎながら進めてまいります。よろしくお願いいたします。

(4) 「放課後子どもふれあいスクール」（いからしフレンドスクール）運営について

今年度いかフレは開設17年目を迎えます。いかフレは「ななめの関係」で子どもたちとふれあう場所です。「親でもない、先生でもない、ななめでちょうどいい」という意味だそうです。今年度は新潟大学学生団体CANSとのコラボ企画を7月の土曜日に行う予定です。近くなりましたら「いかフレ通信」でお知らせいたします。